

Noxudol®

**ノックスドール
水性1100**

1Lカートリッジガン使用説明書

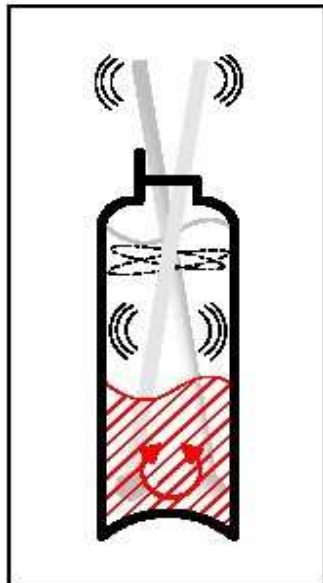
①ノックスドール1100 1Lの準備

1100は水性材料です。

水性製品の特性上、内容物が沈殿する場合があります。
1Lカートリッジガンを入れる前に必ず材料を攪拌してください。

棒などの場合
(非常に良く攪拌する必要)

ドリルなど利用の場合<推奨>
(作業効率がアップ)



※ドリルなどを利用して攪拌する作業が早くできます。

※1100は水性材料です。
2°C~30°Cの範囲で保管し、
凍結はさせない様にご確認ください。

②1Lカートリッジガンの準備

●準備・注意事項

- ① 供給エア圧を5kg/cm²前後の範囲内で使用。
(エア圧が高い場合必ず減圧弁を使用してください。)
- ② ガンのみにエアを送り、空吹きをしてノズル／パイプ／空気穴等にごくまわりが無いことを必ず確認してください。
- ③ キャップを外し、アルミ膜をガンのパイプ等で破り、ドリルに付けた攪拌棒等でしっかり攪拌します。

●同梱物

- ① ガン本体
- ② ニップル(エアチャック用)

●準備して頂くもの

- ③ モンキーレンチ
- ④ シールテープ
- ⑤ 減圧弁
- ⑥ 洗浄液



③1Lカートリッジガン の使用方法

●ポイント

- ・ノズル装着は一旦奥まで挿入し、8mm前後を目安に前に戻す(塗布環境に合わせた状態で調整)
- ・ノズルの挿入具合、エア供給圧の高低、レバーの引き過ぎなどにより、材料が出づらい場合があります。

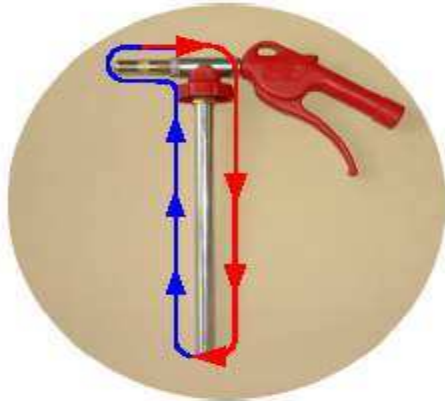


ノズル拡大画像
※3やまを目安に
本体へ挿入

I 図 (1リットルカートリッジガン全体)

● 施工中に吹きが悪くなった場合は

- ① 缶よりガンを必ず抜き、ノズルの先端を指で押さえゆっくりレバーを引くとⅡ図のように還流しパイプの目づまりは解消します。
- ② ①の方法で解消しない場合、Ⅲ図の通り分解洗浄してください。



Ⅱ図 (還流洗浄)
缶から必ず抜いた状態



Ⅲ図 (パイプの取り外し)
※取り外しは十分注意。



Ⅳ図 (ガン分解後)

● 洗浄方法

- ① パイプを洗浄液(水、ミリュー10)の容器に入れ、ゆっくりレバーを引きノズルから洗浄液を吹いて必ず内部洗浄をしてください。
- ② 長期間保管する場合はⅢ図～Ⅳ図の通り分解し内部まで必ず洗浄してください。

※水性1100の場合は使用後すぐ水で洗浄してください。



ノズル・パイプ・空気穴が「目づまり」等で塞がれた場合、供給エア圧が缶内部に供給され、缶の変形・破裂等の原因となる場合があります。

Noxudol®

ノックスドール
油性(300・900・UM-1600)
1Lカートリッジガン使用説明書

①ノックスドールの油性(300・900・UM-1600) 1Lの準備

油性製品の特性上、低温時には粘度が高い状態です。

I 図のように湯せんし加温すると塗布し易くなります。

※ II 図のようにパイプヒーター(温度調節機能付き)を使用して頂くと温度が下がらなく便利です。

I 図



II 図



②1Lカートリッジガンの準備

●準備・注意事項

- ① 供給エア圧を5kg/cm²前後の範囲内で使用。
(エア圧が高い場合必ず減圧弁を使用してください。)
- ② ガンのみにエアを送り、空吹きをしてノズル／パイプ／空気穴等にごくまわりが無いことを必ず確認してください。
- ③ キャップを外し、アルミ膜をガンのパイプ等で破り、パイプで軽くかき混ぜます。

●同梱物

- ① ガン本体
- ② ニップル(エアチャック用)

●準備して頂くもの

- ③モンキーレンチ
- ④シールテープ
- ⑤減圧弁
- ⑥洗浄液



③1Lカートリッジガン の使用方法

●ポイント

- ・ノズル装着は一旦奥まで挿入し、8mm前後を目安に前に戻す(塗布環境に合わせた状態で調整)
- ・ノズルの挿入具合、エア供給圧の高低、レバーの引き過ぎなどにより、材料が出づらい場合があります。

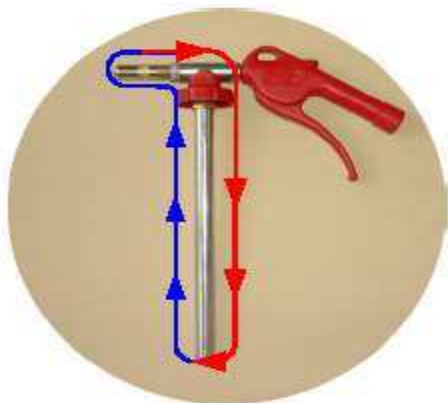


ノズル拡大画像
※3やまを目安に
本体へ挿入

I 図 (1リットルカートリッジガン全体)

● 施工中に吹きが悪くなった場合は

- ① 缶よりガンを必ず抜き、ノズルの先端を指で押さえゆっくりレバーを引くとⅡ図のように還流しパイプの目づまりは解消します。
- ② ①の方法で解消しない場合、Ⅲ図の通り分解洗浄してください。



Ⅱ図 (還流洗浄)
缶から必ず抜いた状態



Ⅲ図 (パイプの取り外し)
※取り外しは十分注意。



Ⅳ図 (ガン分解後)

● 洗浄方法

- ① パイプを洗浄液(灯油、コールドディグリーザ)の容器に入れ、ゆっくりレバーを引きノズルから洗浄液を吹いて必ず内部洗浄をしてください。
- ② 長期間保管する場合はⅢ図～Ⅳ図の通り分解し内部まで必ず洗浄してください。



ノズル・パイプ・空気穴が「目づまり」等で塞がれた場合、供給エア圧が缶内部に供給され、缶の変形・破裂等の原因となる場合があります。